新崎川水系新崎川洪水浸水想定区域図(計画規模)

新崎川水系新崎川洪水浸水想定区域図（計画規模）

１　説明文

（１）　この図は、新崎川水系新崎川の水位周知区間について、水防法の規定に基づき計画降雨により浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

（２）　この洪水浸水想定区域図は、現時点の新崎川の河道の整備状況を勘案して、洪水防御に関する計画の基本となる年超過確率１／３０（毎年、１年間にその規模を超える洪水が発生する確率が１／３０（３．３％））の降雨に伴う洪水により新崎川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

（３）　なお、このシミュレーションの実施にあたっては、新崎川の水位周知区間以外の河川等の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定される区域以外の区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

２　基本事項等

（１）　作成主体　　神奈川県

（２）　公表年月日　　令和元年８月３０日

（３）　告示番号　　神奈川県告示第167号

（４）　根拠法令　　水防法（昭和24年法律第193号）第14条第2項

（５）　対象となる河川

新崎川水系新崎川　（実施区間：左岸　足柄下郡湯河原町吉浜の手洗川合流点から海まで

右岸　足柄下郡湯河原町吉浜の手洗川合流点から海まで）

（６）　算出の前提となる降雨　　新崎川流域の１時間最大雨量８５ｍｍ

（７）　関係市町村　　本図において該当なし

（８）　その他計算条件等

①　この図は新崎川水系新崎川において、堤防のある区間においては危険となる水位に達した時点で破堤及び越水、堤防のない区間においては溢水させたときの氾濫シミュレーション結果を基に作成したものです。

②　氾濫計算は、対象区間を１０ｍ格子（計算メッシュという）に分割して、これを１単位として計算しています。また、計算メッシュの地盤高は国土地理院基盤地図情報（数値標高モデル５ｍメッシュ）データを使用しています。このため微地形による影響が表せない場合があります。

※A1出力時は1:10,000、A3出力時は1:20,000

この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号　令元情使、第458号）